

## 9月のことば

### 情緒の安定⑦ ～「静寂より思考は生ず」

静けさの中に鈴虫の声を聞くと、情緒深い秋の<sup>おもむき</sup>趣が感じられます。  
しかし、これは“静けさ”があってこそ“深く”感じられるのであり、夜空の月も静かなればこそ様々な思いを巡らすことができます。

賢人曰く。「蜜蜂は暗闇でないと蜜を作らないのと同じく、人間のあらゆる思考は沈黙の中より生じた。」と…

50年程前、ノーベル賞を量産していたヨーロッパの各大学の校内はシーンと静まり、研究に没頭できる雰囲気があったが、日本の大学（特に寮等）では「無音でいたい権利<sup>よりも</sup>＜音を出したい権利」がまかり通り、総じて騒がしかったとの事です。

そういえば夏休みの小学生達との早朝読書が上手くいったのは、私も一緒になって40分間“静けさ”を作ったからだ実感しています。

しかし今、音が氾濫。街での不必要なBGM、集中して遊んでいる（学んでいる）子どもへの不用意な大人の声、TVをつけながら…の癖等。

これらは決して、深い思考や感情を育てることはなく、浅く短絡的な考えしかできぬ人間を作っていくと推察できます。

よって、子どもの学びにおいて、又、生活・仕事で考える場面において、「静かなる沈黙の時間」をコンスタントに担保する必要があります。

お彼岸に故人の事を思う時、線香一本燃え尽きる間の静寂なくば、深く<sup>しの</sup>偲べず。又、人生の岐路<sup>きろ</sup>に立たされた時（就職、結婚、マイホーム購入、仕事の問題、そして子育て等）、いずれも沈黙して考えたはずです。

秋の夜<sup>よ</sup>の静けさの中に、貴方<sup>あなた</sup>はどこまで思考を深める事ができますか。

注1)「蜜蜂は暗いところでなければ蜜をつくらない。同じように人間は沈黙している時しかアイデア（思想）は湧かない」・・・カーライル

注2)「肉体に食べものが必要なように、精神も食物が必要。精神の食べ物とは黙想のことである」・・・新渡戸稲造